

第三十四回企画展

収蔵資料めぐり

亀山の近代史にみる「強兵資料」



無観
料覧

【会期】令和二年四月二十五日（土）～六月十四日（日）

午前九時～午後五時（入館は午後四時三十分まで）

【休館日】火曜日 ただし五月五日（火）開館 五月七日（木）振替休館

【会場】企画展示室 【主催】亀山市歴史博物館



亀山市歴史博物館

〒519-0151 三重県亀山市若山町7-30

電話 0595-83-3000 HIP <http://kameyamarekihaku.jp/>

第34回企画展

収蔵資料めぐりー亀山の近代史にみる「強兵資料」ー

展示のあらまし

この展示で「強兵資料」というのは、近代という時代区分において、その時代を説明するための資料への試みの分類項目です。この分類項目を立てるに当たっては、明治政府が欧米諸外国と付き合うために進めていった富国強兵政策に注目しました。それならば、分類項目としては「富国資料」も立てることができるはずです。

しかし、展示テーマでは「強兵資料」を取り上げました。その理由は、近代の前後の時代区分である近世と現代には、近代のような強兵政策を見いだすことがほとんどできないからです。いいかえれば、近代という時代区分に見る強兵政策は、大きな特徴と捉えることができるのです。

歴史博物館では、近年市内の方々から、太平洋戦争を伝える品々の寄贈を受ける機会が増えてきています。これらを「強兵資料」と分類したときには、近代の終わりを伝える「強兵資料」と位置づけることができます。

そして、改めて収蔵資料をめぐると、収蔵庫には太平洋戦争の時期に限らず、近代を通じての「強兵資料」があります。そして、これらの「強兵資料」は、平時と非常時というインターバルの歴史の中で存在していたことに気づかされます。

では、第34回企画展「収蔵資料めぐりー亀山の近代史にみる「強兵資料」ー」をどうぞご覧ください。

【関連事業】企画展講座

開講日時 5月31日(日) 13時30分～15時

会場 亀山市歴史博物館講義室

テーマ 「収蔵資料めぐり～亀山に伝えられた近代史「強兵資料」～」

講師 小林秀樹(亀山市歴史博物館館長)

定員 40人

申込み 5月1日(金)より申込み開始、電話または直接来館にて受付
0595-83-3000 定員になり次第、締め切ります。

亀山市歴史博物館

〒519-0151 三重県亀山市若山町7-30

電話 0595-83-3000 HP <http://kameyamarekihaku.jp/>

